

原水爆禁止2020年世界大会・ピロシマデー
集会（6日、広島市）で採択された「広島からす
べての国の政府への手紙」は、次の通りです。

原爆から3年目の西暦1950年8月6日広島に轟いた私たちは、必ずやこの国のすべての人に、人類の破滅につながりまむた豊かな運動を繰え

略がつづき、核兵器が使用されかねない重大な情勢に直面しています。開発されたばかりの一発の原子爆弾は、数々の市民を無差別に殺戮（さつりく）し、広島を一瞬にして「地獄」と化しました。かわりじて生き延びた被爆者や、後遺症や差別に苦しめられました。今日の近代化された広島で開かれたす。核兵器を使用する」とは、いかなる状況でも断じて許されません。私たちも、国際社会がその脅威を根絶するため、ただちに力を取っていなければなりません。

広島からす

原水爆禁止 2023年世界大会で採択

主要7カ国首脳会議（C7） 「核抑止」は、核兵器は「侵略を 防止する」と「核抑止 力」論を公然と宣稱しま した（「核軍縮に関するC7 首脳広島会議」）。 「核抑止」とは、ヒロシ マ・ナガサキの惨劇を もたらすことを前提に した威嚇に他なりません。 私たちが、被爆地と 被爆者を愚弄（ぐろう） するこの眞面を断固と して拒否します。被爆 地・広島から賛成すべ

本題のメッセージは、核兵器の使用とその威嚇を許さず、核兵器のない世界を一刻も早く実現するにとて他なりません。

現実に戦争が進行し、軍事的緊張が高まっています。

「核軍備撤廃の有効な措置に関する交渉」を行うことを定めた第6条なども、「核軍備の完全廃絶」の誓約（2000年）、「核兵器のない世界、の平和と安全の達成」とそのための「締組」について（2010年）など、これまでの再検討会議の合意を実行する実質的な成果をあげることを求めます。

史上初めて核兵器を法化した核兵器禁止条約（TPNW）が発効し、支持と参加が広がっていることは、私たちにとって大きな希望です。第一回締約国会議が、政治宣言と行動計画を探討し、条約の適用がはじまってからのお訴えに応じて、行動される心を心から希望します。TPNWは「核兵器のない世界」という目標達成にむけてNPTを補完するものであり、矛盾するものではありません。NPTに参加するすべての国が、TPNWを支持し、参加するなどを訴えます。

私たちは市民社会の団体として、諸政府、国連機関と共に、「核兵器のない世界」の実現にむけで尽力する決意を表明します。原水爆禁止2025年世界大会に参加した私たちは、日本の政府が「核の傘」への依存をあらため、核兵器禁止条約に参加するよう力を發揮します。

あなた方が、NPTの開催からの訴えに応じて、行動される心を心から希望します。